



駐日エクアドル大使
セサル モンターニョ・ウエルタ

1987年に、エクアドル外務省に入省。外交官として、ドイツ・ボンのエクアドル大使館、スイス・ジュネーブの世界貿易機関（WTO）エクアドル常駐代表部に勤務する。その他、外務省貿易交渉調整官、キト外務省経済・国際協力担当次官、外務次官を歴任。また地域レベルでは、アンデス共同体初代事務局長セバスティアン・アレグレット氏の首席補佐官や、2014年から2020年まで、アンデス共同体事務総局の事務局長を務める。

メルコスール、米国、トルコ、欧州連合とエクアドルとの貿易交渉や、米州自由貿易地域（FTAA）、WTOドーハ・ラウンドの枠組みにも参加。欧州連合とバナナの貿易に関するジュネーブ協定を交渉し、署名した。

外交アカデミー、上級国家研究所、教皇庁立エクアドルカトリック大学、サンティアゴ・デ・グアヤキルカトリック大学などで講義を行う。

キトの教皇庁立エクアドルカトリック大学で、法学博士号を取得。

MINISTERIO DE RELACIONES EXTERIORES
Y MOVILIDAD HUMANA

